

理学療法かわら版

一般社団法人
山形県理学療法士会

目次

理事コラム	1	活動報告	3
新生涯学習制度	2	事務局より・編集後記	8
事業所一覧、リーフレット紹介	3		



理事コラム

教育局担当理事
吉岡病院

早坂 恵美子

令和元年度より教育局生涯学習部担当理事を拝命いたしました、吉岡病院の早坂恵美子です。今回はこの場をお借りして、2022年4月から開始される新生涯学習制度についてお話させていただきます。

さて、皆さんもご存じと思いますが、「理学療法士」という資格が生まれてから50年以上が経過し、その間に人々の生活や社会環境は大きく変化しました。理学療法士として今後も多様化し続けるニーズに応えるため、2022年4月より生涯学習制度がリニューアルされます。新しい生涯学習制度のポイントは、社会に理学療法士の質を保証する＝「登録理学療法士」の取得・維持です。新生涯学習制度においては、登録理学療法士であることがベースとなります。全会員が登録理学療法士を取得し、5年ごとにジェネラリストとしての幅広い総合的な研修を受講し、自己研鑽を継続することで、日本理学療法士協会が社会に対して理学療法士の質を保証することを目指すとしています。

これまでの新人教育プログラムによる研修制度は2021年度で終了します。2022年度からは、入会後まず「前期研修」を履修し、その次に「後期研修」を履修することで「登録理学療法士」が付与されます。前期研修の到達目標は、必要に応じて指導を求めながら、基礎的（ベーシック）理学療法を実践できるレベルです。履修目安は2年間で、対面研修、eラーニングおよび実地研修のいずれも無料で行われます。後期研修の到達目標は、多様な領域で標準的（スタンダード）な理学療法を臨床実践でき、学生や後輩を指導できる

レベルです。履修目安は3年間で、対面研修とeラーニングで履修ができ、後期研修を修了することで「登録理学療法士」となります。「登録理学療法士」となった会員は、5年ごとの更新を目安に自己研鑽を続けます。

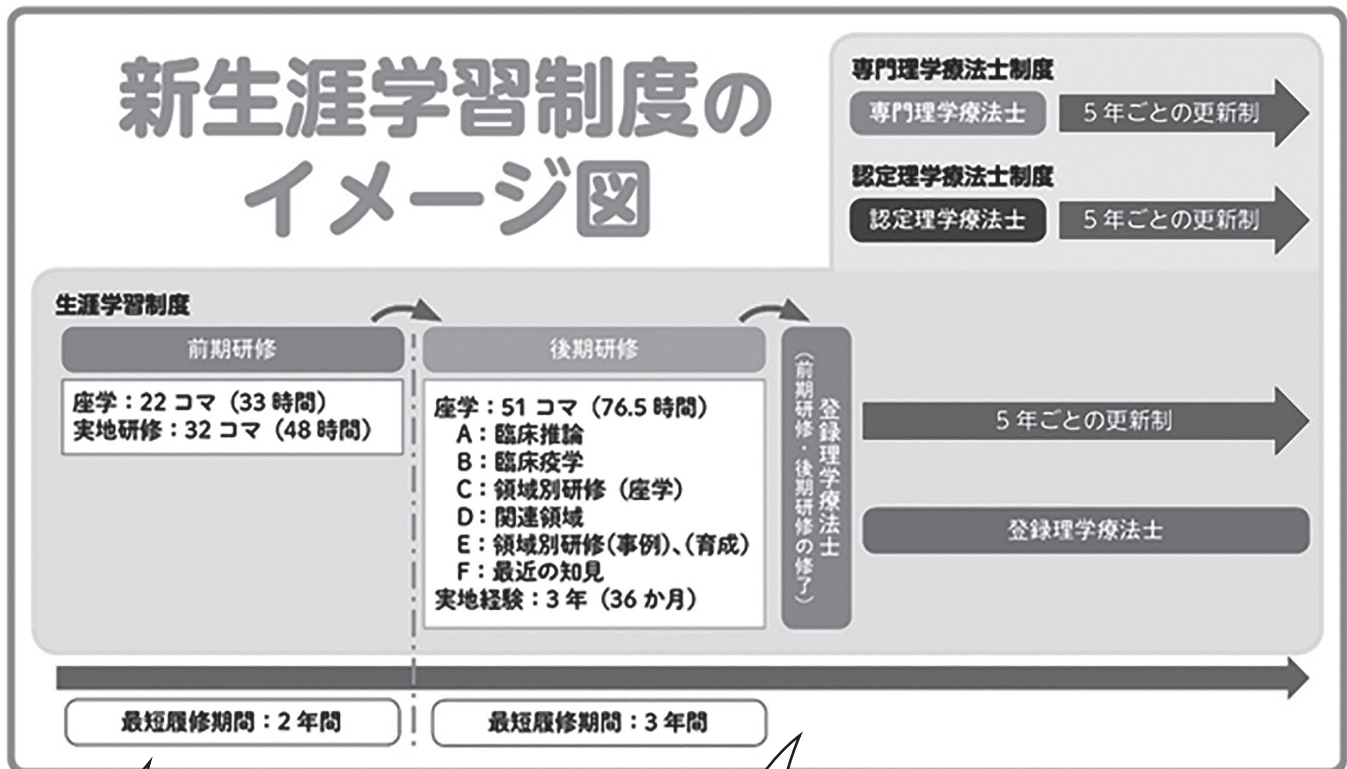
新生涯学習制度では、eラーニングを活用することで、地域格差やライフワークバランス、職場環境に左右されず学び続けられる制度になっています。また、幅広い総合的な生涯学習（登録理学療法士の更新）を基盤とした位置づけとして、認定理学療法士、専門理学療法士が設定されています。どちらも特定分野において、より安全で質の高い理学療法を提供できることにより、国民に高水準の理学療法を提供できる理学療法士として認識してもらうことを目的としています。

新制度開始までの履修状況や、入会年度、認定・専門理学療法士取得有無によって、2022年度からの位置づけが変わります。日本理学療法士協会ホームページのマイページにアクセスし、ご自身の履修状況をご確認ください。個人へ封書でのお知らせも届いていると思います。最新情報は、マイページにログイン＞会員専用コンテンツ＞生涯学習制度で確認することができます。当会でも、新生涯学習制度の説明会を企画しておりますので、ぜひ参加していただき、理解を深めていただけたらと思います。新生涯学習制度は、会員の権利を最大限活用できる制度設計となっております。多様化するニーズに応えうる理学療法士であり続けるため、皆さんと一緒に自己研鑽に励みましょう！



2022年4月から新生涯学習制度が始まります!!

新生涯学習制度のイメージ図



新生涯学習制度の特徴

- 前期研修・後期研修による卒後5年間の義務教育化
- 登録理学療法士制度による5年ごとの継続教育実施

登録理学療法士更新の特徴

- 学習機会の公平性担保
- オンラインコンテンツの充実
- 会員サービスを活用したポイント取得
- 学会・研修会参加型に加え、職場基盤型研修への展開

日本理学療法士協会ホームページへアクセス!!
最新情報がわかります!!

協会ホームページ

協会について
→生涯学習
→動画一覧

マイページへログイン

会員専用(限定)コンテンツ

新生涯学習制度

生涯学習制度専用
Twitterを開始!!
@jpta_shougai

新生涯学習制度
への移行
→移行内容

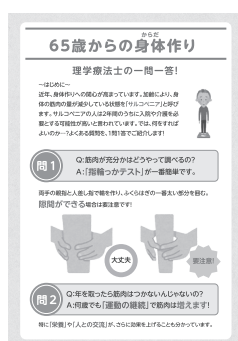
「訪問リハビリテーション、通所系リハビリテーション事業所一覧」 「65歳からの身体作り」(リーフレット)を作成しました



「訪問リハビリテーション 通所系リハビリテーション事業所一覧」

令和2年度に理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による在宅でのリハビリテーションを提供している訪問リハビリテーション事業所および通所系リハビリテーション事業所のうち、主に介護保険を利用する事業所を紹介しています（紹介については了承を得た事業所のみを掲載しています）。

山形県理学療法士会ホームページ (<http://www.dream-pt-yamagata.jp/>) に掲載していますのでご活用ください。



「65歳からの身体作り」

近年、身体作りへの関心が高まっているなか、加齢により身体の筋肉の量が減少している状態を指す「サルコペニア」について詳しく説明しています。よくある質問を1問1答形式で紹介しています。

山形県理学療法士会ホームページ (<http://www.dream-pt-yamagata.jp/>) に掲載していますのでご覧ください。

《各部の活動報告》

令和2年度 第2回生涯学習部研修会

日 時：令和2年11月1日(日)

会 場：山形県立保健医療大学 第1講義室

参加者：38名

内 容：必須テーマ4単位、選択テーマ1単位

9:30~10:30	「A-4 人間関係および接遇」(必須)	山形県立河北病院	丹野 則子
10:40~11:40	「A-1 理学療法と倫理」(必須)	山形済生病院	岩田 好子
12:40~13:40	「A-5 理学療法における関連法規(労働法含む)」(必須)	山形徳洲会病院	山本 洋介
13:50~14:50	「C-2 運動器疾患の理学療法」(選択)	最上町立最上病院	多田 雄一
15:00~16:00	「A-3 リスクマネジメント」(必須)	山形済生病院	鈴木 健太

第2回生涯学習部研修会を終えて

第2回研修会は第1回と同様に感染対策に十分注意し、対面での講義を開催しました。世間はまだまだ新型コロナ禍でしたが、新入会員や講師の方々には事前の体調管理や当日の感染対策等、多くのご協力をいただき、無事に開催することができました。また、第1回研修会での感染予防策を参考にしたことで、滞りなく研修会を開催・進行することができたのではないかと思います。次年度以降の生涯学習部研修会の開催方法については、新型コロナウイルスの感染状況に影響されると思いますが、新入会員の学習機会を確保し、新入会員の交流の場としても、研修会の開催を検討していければと思います。また、新たな生涯学習制度の周知にも努めて参りたいと思います。

新入会員より

コロナ禍の中、感染対策を十分に配慮し、第2回生涯学習部研修会を開催していただいたことに感謝申し上げます。対面研修を行えてとても充実した1日を過ごすことができました。今年度から理学療法士として勤務させていただいており、運動器疾患や中枢疾患など担当させていただく機会が多くあります。今回の「運動器疾患の理学療法」について講義を受け、基礎的な知識から臨床にて評価するポイント、アプローチの仕方など様々なことを学ぶことができました。まだまだ知識不足であることを痛感しました。疾患にとらわれず、患者様一人一人にあった治療を提供できるよう日々勉強していかねばならないのだと感じました。今回の研修会を通して得た知識を活かし、一日でも早く患者様のため、治療に生かしていき、向き合っていきたいと思います。

三友堂病院 平 梨花

初めに、生涯学習部研修会を開催していただき、参加できたことを大変嬉しく思います。今年度は新型コロナウイルス感染拡大により、様々なイベント、研修会等が中止になり、病院内外において同期や先輩方とのコミュニケーションをとる機会が限られました。その中で、この度の研修会では接遇やリスクマネジメント、各疾患における理学療法について臨床で働く理学療法士の先生方から直接学ぶことができました。大学の講義とは違い、臨床場面で生まれる疑問と結び付けながら受ける講義は新鮮で、大変勉強になりました。最も印象的だった講義は「運動器疾患の理学療法」です。私は運動器疾患の患者様を担当することが多いため、講師の先生が実際にあった経験談を踏まえて話して下さった基礎知識の応用や動作分析等がとても記憶に残りました。今回の研修会によって得られた大きなポイントは、疑問にどう立ち向かうか考えるきっかけができたことだと思います。改めて学ぶことができた基礎知識の重要性や患者様との関わり方をさらに復習し活用していきたいと思います。少しでも早く山形県理学療法士の一員として貢献できるよう、新人同士切磋琢磨し、成長していきたいと思います。

山形済生病院 鈴木菜々香

令和2年度 第1回庄内支部勉強会

日 時：令和2年11月12日(木) 19:00~20:30

会 場：日本海酒田リハビリテーション病院

参加者：25名

内 容：「多職種での関わりで目指す在宅復帰と理学療法士の役割について」

「多職種の関わりで目指す在宅復帰と理学療法士の役割について」をテーマに、日本海酒田リハビリテーション病院にて第1回庄内支部勉強会を開催しました。同一症例の各期の理学療法について、大沼侑太郎先生（本間病院、佐藤顕恵先生代読）、小松沙織先生（介護老人保健施設ひだまり）、矢島慎也先生（介護老人保健施設うらら）から報告していただきました。

今回の勉強会では、同一症例の急性期から生活期における経過を辿り、担当者より介入時の様子や課題を報告の後、参加者による意見交換を行いました。主に生活期での経過に着目し、施設入所から独居での自宅退所に至った症例に関して後方視的に振り返り、理学療法士として必要な関わりについて多面的に検討しました。個別のリハビリメニューのみでなく、施設での生活場面で行うことができる動作訓練や他職種との連携、自宅の見取り図や生活習慣を考慮しながらの家屋環境調整や福祉用具の検討など、症例の生活を具体的にイメージしながら検討を進めました。例年はグループディスカッションを行っていましたが、今回は感染予防のため、個人で考える時間を設けてから発表形式で情報交換を行いました。また、矢島先生からは老健の現状、区分についてのお話もいただきました。

感染対策を整えた中、少人数での開催となり例年と異なる状況でしたが、久しぶりに顔を合わせて勉強会を開催できたことに嬉しさを感じました。来年度以降も状況に合わせて勉強会を企画していきたいと考えております。



令和2年度 第1回村山支部症例検討会

日 時：令和2年11月26日(木) 19:00～20:30

会 場：霞城公民館2F 研修室1A、1B

参加者：35名

内 容：症例検討2題

今回の検討会では2名の先生から2症例を提示していただいた。

1 症例目は篠田総合病院の土田先生より、パーキンソン病を呈した症例に対する訪問リハビリでの取り組みについて発表していただいた。on-offの差が激しい症例に対して、日誌のような記録をモニタリングすることで改善がみられ、今後は自主練習を取り入れていく予定であるとのことであった。土田先生から自主練習を指導していくための工夫点や方法についての質問も提示され、参加者から様々な視点での意見が得られた。今後、今回得られた意見を参考に実施していくとのことであった。

2 症例目は山形市立病院済生館の高野先生より、大腿骨頸部骨折後に人工骨頭置換術(CPPアプローチ)を施行した症例の術後脱臼についての考察点を発表していただいた。さらに、1 症例目同様に高野先生から、他院での脱臼の指導法や工夫点についての質問があり、各参加者より施設における取り組み等について提示あった。発表者からは非常に参考になり有意義であったとの感想をいただいた。

今回、感染予防対策を施したうえでの検討会の開催となったが、参加者数は過去に同施設で行った時よりも多くみられた。また、以前より参加者からの意見や質問も多く、発表者からも意義あるものであったという感想が聞かれた。これまでの取り組みが結果として表れてきているものと考えられ、今後も感染状況を考慮しながら発表者や参加者に有意義な検討会を開催していきたい。



令和2年度 第1回置賜支部勉強会

日 時：令和3年1月28日(木) 18:30～20:30

開催方法：オンライン

参加者：56名

内 容：

①講義：「股関節の機能解剖と触診」

最上町立最上病院 多田 雄一

②症例報告

1)「右大腿骨頸部骨折を呈し観血的整復固定術を施行した症例～歩行訓練後より荷重時痛が増悪した症例～」

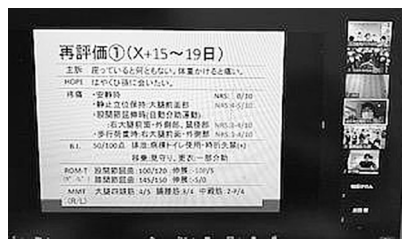
米沢市立病院 片桐 優太

2)「橋出血により両麻痺を呈した50歳女性の症例～両側眼振と失調症により動作学習困難を要している方への通所でのアプローチについて～」

ドミール南陽 山田 和範

今回は、置賜支部の2地区から1症例ずつ選出し、発表を行う症例検討会と、股関節の機能解剖と触診というテーマで、理学療法士の多田雄一先生を講師としてお招きし勉強会を開催いたしました。前半は、症例検討会で2名の先生方に発表していただきました。各発表は、患者様・利用者様ごとの特性が反映されており、バラエティに富んだ内容でした。質疑応答では、1 症例目は股関節疾患でテレスコーピングによる痛みだけではなく、収縮性組織の問題なのか、非収縮性組織の問題なのか、評価の視点が重要であるという意見が述べられました。2 症例目では、両側麻痺に対し、立位動作の中で、動的なバランスの獲得、特に体幹の回旋運動や歩行時の方向転換など評価・治療が必要であるという意見が述べられました。症例検討会では、実際の臨床に繋がる良い機会になりました。後半は、最上町立最上病院の多田雄一先生より、股関節疾患の症例報告に繋がるよう、股関節の機能解剖と触診について、経験談を含めながらお話しいただきました。股関節の頸体角と股関節応力の関係や杖を





使用することで、対側の股関節にかかる応力が30%減り、痛みが軽減できることなど述べられておりました。また、変股症の症例などには、股関節の痛みに対し、頸体角を確認し、収縮性組織の問題なのか、非収縮性組織の問題なのかを評価し、痛みの原因を探ること、自宅生活における環境設定が重要であることなど、とても深い内容でありました。股関節疾患に対し関わり方、評価・治療について、とても勉強になった研修会だったと思います。

令和2年度 専門領域推進部 3領域合同勉強会「各領域における腰痛のとりえ方」

今回の勉強会は運動器疾患領域、ウィメンズヘルス領域、予防領域の3領域合同で企画、開催した。テーマの意義は臨床上経験することの多い「腰痛」を各領域の視点から幅広く情報提供することで参加者に復習や気づき、各領域が持つ専門性を認識してもらうこととした。

○第1回勉強会 「運動器疾患領域からみた腰部の評価」

日 時：令和2年12月17日(木) 19:00~19:50

開催方法：オンライン

参加者：93名

内 容：腰痛に対する評価を姿勢、自動運動、他動運動など基礎的な部分を説明。また、症例を提示することで臨床でのどのように活用しているか提示した。

情報提供者：山本 洋介（山形徳洲会病院）

○第2回勉強会 「ウィメンズヘルス理学療法領域からみた腰部の評価」

日 時：令和3年1月20日(木) 19:00~19:40

開催方法：オンライン

参加者：38名

内 容：妊娠による母体への負担を解説し、そこからどのように評価していくのかを具体的に説明。考え方の基本は運動器としての腰痛評価であるが、そこに妊娠出産に関わる評価を合わせて実施していくことの大切さを提示した。

情報提供者：庄司優喜子（山形済生病院）

○第3回勉強会 「予防領域からみた腰部の評価」

日 時：令和3年3月17日(水) 19:00~19:40

開催方法：オンライン

参加者：35名

内 容：昨今の100年ライフと言われるライフスパンの中で、理学療法士が利用者の多様性を理解し、ライフステージに応じた最適な運動療法を選択する重要性を提言した。特に産業保健分野においては、「高齢者の雇用促進」「治療と仕事の両立」「健康経営」を軸に参入していく視点を紹介した。また、予防理学療法の視点からは「参加」に焦点を当て、1次から3次予防まで役割も多岐に渡ることを挙げた。

続いて、今回のテーマである腰痛について疫学や発生要因を整理し、予防的な対策・管理について紹介した。労働者の腰痛において、腰痛の発生要因は「動作」「環境」「個人」「心理・社会的要因」に分類できる。診療ガイドライン上は、動作に対する助言や腰ベルトは効果がないとされている。予防対策のポイントは「作業」「環境」「健康の管理」「労働衛生教育」が挙げられ、それぞれに対して配慮すべ



医療機器・福祉用具販売レンタル
TOTAL MEDICAL COMMUNICATION

株式会社 トーク

日医器流通正事業所 第9406017号
福祉用具貸与事業所 0670700434
E-mail: somu@took.co.jp

〒997-0806
山形県鶴岡市遠賀原字稲荷41-2
TEL (0235) 22-1009 FAX (0235) 25-8139

医学書のことならお任せください

日本医書出版協会認定医学書専門店
医学書、看護学書、医書一般



株式会社 高陽堂書店

山形市大野目3-1-17 TEL 023(631)6001 FAX 023(632)1168
http://www.koyodo.com/ email info@koyodo.com

き項目を紹介した。特に腰痛予防体操については、実施時間帯の提案や具体的な体操の提示、エビデンス等を説明した。加えて、ノーリフトへの取組みを例にリスクアセスメントとPDCAサイクルの活用によるマネジメントについて説明した。

腰痛予防教育は知った・聞いただけでは効果が無いとされる。実際の職場や地域での関わりとして、まずは身近な対象に対しての調査や講習・指導などを考えるところから始めてみることを提案した。

情報提供者：芦埜 達哉（在宅リハビリ看護ステーションつばさ天童サテライト）

山形県在宅医療推進事業「地域包括ケア病棟に関する研修会」

日 時：令和3年2月28日(日) 13:00～15:00

開催方法：オンライン

参加者：40名（県内の理学療法士を中心とするリハビリテーション専門職）

講 師：松山 太士 氏（社会医療法人財団新和会八千代病院 総合リハビリセンター技師長）

内 容：地域包括ケア病棟におけるリハビリテーションの現状と課題に対する方策について、在宅復帰支援を更に充実させるための地域包括ケア病棟におけるリハビリテーションについて、入棟前の前方連携、入棟中の介入方法、退院に向けた後方連携など、具体例を挙げて講義いただいた。講義の中で地域包括ケアシステムを効率的に動かし、在宅医療推進に向けた適切な地域包括ケア病棟の運用方法を学んだ。



福祉用具開発・レンタル販売 <http://www.tamatsu.jp>



本 社 山形県鶴岡市美咲町32-7(〒997-0857)
TEL 0235-23-6333/FAX 0235-25-3889

◆山形県厚生省労働省指定◆
W (有) 渡 部 義 肢

◆営業品目◆

義足・義手、コルセット、車椅子、ステッキ、下肢装具、上肢装具、骨格義足(モジュラー)

〒997-0861 山形県鶴岡市桜新町8番地52号
TEL(0235)25-9366 FAX(0235)25-9364

安心と信頼

・前腕義手・股義足・下腿義足・骨格構造義肢・
(大型短断端を含む)
・腰・胸椎装具・靴型短下肢装具・歩行補助つえ・車イス・
(コルセット)

山形県指定一級義肢装具士 安 達 武 雄
山形市江保3丁目15-1
☎(023)681-0456
Q (有)安達ブレイス製作所

Your Healthy and Active Life With
YAMAGATA PROSTHESES INSTITUTE
あなたの健康で快適な人生の為に、山形義肢研究所がでること

有限会社 **山形義肢研究所**

ACCESS 山形市飯田五丁目5番39号
TEL 023-632-5214 FAX 023-632-5215



オーリンク株式会社

山形市北町三丁目8番20号
電話 (023) 681-3633 (代)

福祉用具の製作・販売・レンタル

風の郷工房 (有)

座位保持装置・車椅子
電動車椅子・歩行器など

東置賜郡高島町一本柳 2535-1
TEL 0238-52-1446 FAX 0238-52-1411
URL: <http://www.kazenosato.co.jp/>

思いやりリハビリ・まごころケア

(有) 福祉用品やまがた

介護用品ショールーム

〒998-0842 山形県酒田市亀ヶ崎4-2-40
電 話 (0234) 26-1725
FAX (0234) 26-6780



義肢・装具・車いす
他整形医療器具製造・販売

(有) エムサポート

〒990-2212 山形市上柳110
TEL(023)687-2800 FAX(023)687-2812
取引銀行 山形銀行宮町支店(普通)0241881

●定期的なマイページの確認をお願いします

日本理学療法士協会ホームページ内の「マイページ」の定期的な確認をお願いいたします。「マイページ」内の、会員専用コンテンツでは、教育、学術、職能、福利厚生情報が掲載されております。また、異動申請、会員情報の更新などの各種申請が可能です。

●会員異動届の手続きは済んでいますか

他都道府県理学療法士会からの転入、自宅住所および勤務先の変更、改姓された方は、「マイページ」より手続きをお願いします。

●会員区分について

会員の皆様の中で、自宅会員として異動申請される方がいます。日本理学療法士協会において、会員区分として、勤務先をもつ会員は勤務先会員となります。「マイページ」にて会員区分をご確認の上、現在の登録と異なる方は異動申請の手続きをお願いいたします。

●楽天カードでの会費の納入をお願いします

日本理学療法士協会では、会費納入用クレジットカードとして「楽天カード」を指定しております。会費納入の漏れがなくなり、手数料も無料です。「マイページ」よりお申し込みください。

●新人教育プログラム修了には、マイページでの修了申請が必要です

マイページ内「生涯学習管理」メニュー中の、「生涯学習管理」-「履修状況確認」-「新人」-「修了申請」にて、手続きをお願いします。新人教育プログラムを修了していない場合、認定・専門理学療法士取得に必要な生涯学習ポイントの取得ができません。また、地域包括ケア推進リーダー、介護予防推進リーダーの取得要件を満たしませんので、ご注意ください。

医療の未来を見つめる総合商社



岡崎医療株式会社

- 本社 山形市あこや町三丁目4番3号
- 山形営業所 〒990-0025 ☎023(代)623-0546番
- 鶴岡営業所 鶴岡市大字安丹字村上4番10号
〒997-0057 ☎0235(代)22-0106番

LCS

オーダーメイドの福祉用具

株式会社 ライフケアサポート

山形県東根市温泉町1-13-10
TEL0237(43)6833 FAX0237(43)6832

生命科学・医療福祉分野を総合的にサポートする



株式会社 シバタインテック



- 山形支店 〒990-2323 山形県山形市桜田東二丁目1番21号
TEL:023-642-8153 / FAX:023-623-5853
- 本社(仙台)・荘内営業所・鶴岡営業所・郡山営業所・ロジスティックセンター・メンテナンスセンター

あなたの笑顔が見たいから
株式会社 蔵王サプライズ

●リネササプライズ・ホスピタルリネサ事業部 ●ホームヘルスケア事業部 ●リースキン事業部

ホームヘルスケア事業部 山形市銅町二丁目21番4号 TEL (023) 674-9600
支店・営業所 仙台支店/新庄営業所/庄内営業所

Okaze
OKAZE CORPORATION

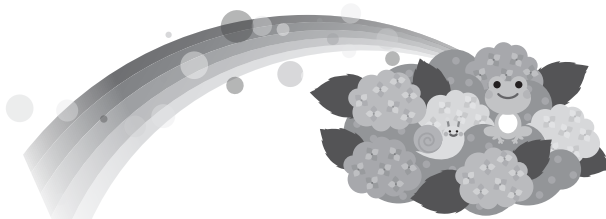
- 株式会社大風印刷 〒990-2338 山形県山形市蔵王松ヶ丘1-2-6 TEL.023-689-1111
- 天童営業所 ☎023-654-5715 ●東根営業所 ☎0237-53-0117 ●仙台営業所 ☎022-399-7861
- 東京営業所 ☎03-5829-6650 ●ガッタハウス ☎023-631-5579

編集後記

昨年から新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くの活動が制限されてしまいましたが、感染予防に努め、開催方法を工夫しながら研修会や勉強会が実施されました。オンライン形式での研修会のメリットもありますが、早く従来通りの研修会、勉強会が開催できるようになることを祈っています。

新生涯学習制度については協会ホームページから、新しく作成された「訪問・通所系リハビリテーション事業所一覧」、「65歳からの身体作り」については当会ホームページから確認できますので、是非ご利用ください。

広報部部长 国立病院機構山形病院 石川



- 発行／一般社団法人 山形県理学療法士会
- 発行者／岩井 章洋
- 編集者／鈴木 健太
- 広報部／E-mail: ptkouhoubu@yahoo.co.jp